



学校教育目標：夢と希望に向かってチャレンジする子ども

旭市立鶴巻小学校
学校だより第21号
令和3年
3月11日

鶴巻小だより

めざす子ども像：よく学び よく遊び よく笑い よく働く

学校評価の結果についてお知らせします。

早春の候、保護者の皆様には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育活動に対し、ご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、先日実施した学校評価の結果をお知らせします。

いただいたご意見は、今後の教育活動に生かしてまいります。ご協力ありがとうございます。

1 4段階（A B C D）評価の結果 （※別紙をごらんください。）

全体の評価は児童・保護者・職員共にほとんど◎でした。×の評価は一つもありませんでした。しかし、一つ一つの項目を見ると、CやDの評価がついているものもあります。少数の意見も大切にして改善を図ってまいります。

全体の課題としては、唯一、○の項目は読書についての1項目でした。

保護者の評価 NO.4 子どもは進んで本を読んでいる。（2.93）

回答の割合を見ると、A（36%）B（34%）C（18%）D（12%）です。子どもが本を読まない、あまり読まないと感じている保護者が30%になります。

一方、保護者の評価で昨年度と比較して大きく評価が良くなっている項目も同じ項目です。

保護者の評価 NO.4 子どもは進んで本を読んでいる。2.45から2.93（+0.48）

さらに、児童の評価で昨年度より大きく評価が良くなっているのも読書についてです。

児童の評価 NO.4 進んで本を読んでいる。2.81から3.24（+0.43）

昨年度の反省を生かし、本年度、【読書の奨励】を重点に取り組みました。学校図書館司書と連携し、図書室や学級文庫の環境整備、読み聞かせや読書賞の発行などを通して、本をたくさん読む子どもに育てたいと考えました。

コロナ禍の中でのスタートとなり、各学年の図書室の利用を曜日ごとに割り振りました。そのため、定期的に図書室で本を借りる機会が増えています。読書賞はのべ166人受賞しています。

今年度は、密を避けるため、学校を公開する場がなく、子どもたちの学校での様子が保護者に伝わりにくいことも評価が高くない原因とも考えられます。今後もおたよりやHPなどで子どもたちの学校での様子を情報発信してまいります。

また、20%の児童が進んで本を読んでいると回答しており、さらに多くの児童を本好きに育てる工夫を考えてまいります。

2 主なご意見（自由記述）のまとめ

（○成果）

- とても良い学校だと思っています。先生方、いつもありがとうございます。
- 子供が楽しく学校に行っていることに嬉しくとても感謝しています。
- 先生の細やかな配慮に感謝しております。
- コロナ禍の中、感染予防など配慮する点が多く、先生方も大変だと思います。いつもありがとうございます。
- いつもお世話になっております。クラス全体が落ち着き、安心して登校できています。
- 給食の残食を減らす工夫、クラス全体で読書をする意欲を高める方法等々、先生の指導のお陰で食事量も増えて、読書をして歴史が好きになりました。本当にありがとうございます。
- 自学、個性がでていてとてもおもしろいと思います。クラスのみんなの自学を読むことができるので、やる気につながっています。他の学年に見せてあげられるといいと思います。
- マラソン大会の伸び率は、先生が細かくみんなのことを見てくれていると感じました。ありがとうございます。

（▼課題と思われるご意見） （→学校からの回答）

- ▼授業で発表するために、頑張っているいろいろ調べたり写真をとったりしたのですが、納得のいく発表ができなかったようです。本人の力不足もありますが、次につながるようなご指導をお願いします。
- 発表の準備のために、いろいろ調べて頑張ったこと、素晴らしいですね。頑張ったことが納得のいく発表につながり、成功体験として自己肯定感が高まる指導に努めてまいります。

- ▼先生は適切に応じすぎていると思う。
- これからも一人一人の子どもに寄り添った指導を行ってまいります。

- ▼インターネット使用に対して協力をお願いしたいです。
- 文部科学省の「GIGAスクール構想」で令和3年度から旭市でもすべての児童生徒に1人1台タブレット端末が整備されます。今後、効果的な活用の方法について検討してまいります。

- ▼先生が学校に来なくてさみしいと言っています。早く元気になってくれると思います。
- いつも笑顔で子どもたちの前に立てるよう、健康管理に十分努めてまいります。